

## 管理栄養士養成施設の長 殿

令和 6 年度 厚生労働科学研究費補助金

(循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業)

「管理栄養士の社会的需要を見据えた管理栄養士養成施設における基礎学力向上と  
養成教育の効果的な連動に向けた研究 (24FA1011)」へのご協力のお願い

謹啓 晩秋の候、時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたび、厚生労働科学研究費補助金により「管理栄養士の社会的需要を見据えた管理栄養士養成施設における基礎学力向上と養成教育の効果的な連動に向けた研究」を実施することとなりました。

日本の大学教育における入試制度の多様化に伴って、多様な能力を持つ人材を入学させることが可能となり、管理栄養士養成課程を置く大学においても豊かな人材を育成し輩出しています。

一方で、管理栄養士の活躍の場は多領域に及び、多職種連携で複雑な栄養課題に対応できる管理栄養士の養成が社会的要請となっております。このように管理栄養士の必要性が高まる状況下の養成施設では、管理栄養士の活躍領域において多職種・領域横断的に必須である科目について、学生の基礎学力を確実に向上させていく必要があります。具体的には、入学前・入学後教育など基礎学力向上に向けた支援と専門教育への効果的な連動が重要と考えます。しかし、このような目的での実態調査は、ほとんど行われておりません。

そこで、本研究では、管理栄養士養成課程を置く大学を対象に基礎学力向上に向けた取り組みに関する実態調査を行い、これらの取り組みと養成教育の効果的な連動に向けた議論のための基礎資料とすること目的としております。調査へのご回答は、貴施設管理栄養士課程の学科長、もしくは学科長職に相当する先生にお願いいたしたく存じます。なお本研究は、同志社女子大学「人を対象とする研究」に関する倫理審査委員会の承認を得て実施されており、得られた情報は厳正に管理し、本調査の目的以外には使用いたしません。

ご多用の折、誠に恐縮ではございますが、調査へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

謹白

研究代表者	同志社女子大学	小切間美保
研究分担者	椙山女学園大学	加藤昌彦
	静岡県立大学	市川陽子
	愛知淑徳大学	榎 裕美
	実践女子大学	奈良一寛
	同志社女子大学	鈴木拓史
	滋賀県立大学	今井絵理

お問い合わせ先：同志社女子大学生生活科学部 小切間 美保

〒602-0893 京都府京都市上京区今出川通寺町西入

E-mail : seikat17@dwc.doshisha.ac.jp

管理栄養士養成施設の学科長 殿

令和 6 年度 厚生労働科学研究費補助金

(循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業)

「管理栄養士の社会的需要を見据えた管理栄養士養成施設における基礎学力向上と  
養成教育の効果的な連動に向けた研究 (24FA1011)」へのご協力のお願い

謹啓 晩秋の候、時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたび、厚生労働科学研究費補助金により「管理栄養士の社会的需要を見据えた管理栄養士養成施設における基礎学力向上と養成教育の効果的な連動に向けた研究」を実施することとなりました。

日本の大学教育における入試制度の多様化に伴って、多様な能力を持つ人材を入学させることが可能となり、管理栄養士養成課程を置く大学においても豊かな人材を育成し輩出しています。

一方で、管理栄養士の活躍の場は多領域に及び、多職種連携で複雑な栄養課題に対応できる管理栄養士の養成が社会的要請となっております。このように管理栄養士の必要性が高まる状況下の養成施設では、管理栄養士の活躍領域において多職種・領域横断的に必須である科目について、学生の基礎学力を確実に向上させていく必要があります。具体的には、入学前・入学後教育など基礎学力向上に向けた支援と専門教育への効果的な連動が重要と考えます。しかし、このような目的での実態調査は、ほとんど行われておりません。

そこで、本研究では、管理栄養士養成課程を置く大学を対象に基礎学力向上に向けた取り組みに関する実態調査を行い、これらの取り組みと養成教育の効果的な連動に向けた議論のための基礎資料とすること目的としております。

調査へのご回答は、貴施設管理栄養士課程の学科長、もしくは学科長職に相当する先生にお願いいたしたく存じます。ご多用の折、誠に恐縮ではございますが、調査へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

謹白

研究代表者	同志社女子大学	小切間美保
研究分担者	椋山女学園大学	加藤昌彦
	静岡県立大学	市川陽子
	愛知淑徳大学	榎 裕美
	実践女子大学	奈良一寛
	同志社女子大学	鈴木拓史
	滋賀県立大学	今井絵理

## 調査項目の一覧

### (1) 入学者の受け入れ等について

説明文：貴学における管理栄養士養成課程の入学者の受け入れ等についてご回答をお願いします。

設問 番号	小項目	選択肢						
		1. 化学	2. 生物	3. 数学	4. 英語	5. 国語	6. その他 (自由記述)	7. 科目は 示していない
1	貴学管理栄養士課程が示すアドミッションポリシーとして、重要視している科目を選択してください。(複数回答可)							
2	一般(前期)入試において、化学(化学基礎を含む)を試験科目としていますか。 ※試験科目とは、大学共通テストの利用科目、個別学力検査の科目のいずれか、または両方を対象とします。	1. 必須科目と している	2. 選択科目と している	3. 試験科目と していない	4. その他			
→「1. 必須科目としている」、「2. 選択科目としている」を選択すると設問3へ								
3	化学の試験範囲についてお答えください。	1. 化学基礎まで	2. 化学 (化学基礎を含む)					
4	一般(前期)入試において、生物(生物基礎を含む)を試験科目としていますか。 ※試験科目とは、大学共通テストの利用科目、個別学力検査の科目のいずれか、または両方を対象とします。	1. 必須科目と している	2. 選択科目と している	3. 試験科目と していない	4. その他			
→「1. 必須科目としている」、「2. 選択科目としている」を選択すると設問5へ								
5	生物の試験範囲についてお答えください。	1. 生物基礎まで	2. 生物 (生物基礎を含む)					

## (2)基礎学力向上のための入学前教育・入学後教育等の実施状況について

説明文:基礎学力向上を目的として実施している理科(化学・生物)の入学前教育、入学後教育等実施状況等についてご回答をお願いします。

1)入学前教育の実施状況についてご回答ください。

設問番号	小項目	選択肢			
		1. 実施していない	2. 実施している	3. 実施する期間が十分にとれない	4. その他(自由記述)
6	理科の入学前教育を実施していますか。				
→「2. 実施している」を選択すると設問8へ					
7	「入学前教育を実施していない」理由として当てはまるものを選択してください。(複数回答可)	1. 実施する必要がない	2. 担当する教員が足りない	3. 実施する期間が十分にとれない	4. その他(自由記述)
→設問7を回答している人は設問21へ					

→ 理科の入学前教育の実施状況等に関する設問です。

設問番号	小項目	選択肢				
8	「入学前教育を実施している理由」として当てはまるものを選択してください。(複数回答可)	1. 入学までの学習習慣の維持	2. 高等学校までの基礎学力の補完	3. 大学での専門教育の導入準備	4. その他(自由記述)	
9	入学前教育の実施主体についてご回答ください。(1学部1学科の場合は、「3. 学科として実施」を選択してください。)	1. 大学全体として実施	2. 学部として実施	3. 学科として実施	4. その他(自由記述)	
10	貴学の大学全体の規模(収容定員数)についてご回答ください。	1. 8000人以上	2. 4000～8000人	3. 4000人未満		
11	貴学の学部、学科それぞれの規模(収容定員数)についてご回答ください。	1. 学部(人) ※人数を入力してください。	2. 学科(人) ※人数を入力してください。			
12	入学前教育の実施者を選択してください。(複数回答可)	1. 大学教員(常勤)	2. 大学教員(非常勤)	3. 外部委託	4. その他(自由記述)	
13	入学前教育として実施している科目を選択してください。(複数回答可)	1. 化学基礎	2. 生物基礎	3. 化学	4. 生物 5. その他(自由記述)	
14	入学前教育(貴学が指定している教育内容)の実施期間をご回答ください。	1. 1か月以内	2. 1～3か月以内	3. 3～6か月以内	4. 6か月以上	
15	入学前教育に用いている教材として、当てはまるものを選択してください。(複数回答可)	1. 紙媒体の教材(印刷物、ドリルなど)	2. デジタル教材(DVD、eラーニングなど)	3. その他(自由記述)		
16	入学前教育で実施している指導方法として、当てはまるものを選択してください。(複数回答可)	1. 直接指導(対面やオンライン)	2. 郵便物や電子メールでの指導	3. 自主学習を促す通知のみ	3. その他(自由記述)	
17	入学前教育の実施期間中に、学習内容の進捗状況を確認する仕組みはありますか。	1. ない	2. ある			
18	入学までに、入学前教育の終了時点の知識の定着具合を確認する仕組みはありますか。	1. ない	2. ある			
19	設問17、設問18で「1. ない」と回答した場合は、その理由をご回答ください。 なお、設問17、設問18で「2. ある」を回答している方はご記入の必要はありません。	→ 自由記述(特になければ、「なし」とご入力ください。)				
20	入学前教育の実施による学科教員(常勤雇用)への負担の程度についてご回答ください。	1. ない	2. あまりない	3. ややある	4. ある	
21	今後、理科の入学前教育は必要であると思いますか。	1. 思わない	2. あまり思わない	3. やや思う	4. 思う	

→ 理科の入学後教育の実施状況等に関する設問です。

設問番号	小項目	選択肢					
22	化学に関する入学後教育を実施していますか。	1. 実施していない	2. 必修科目として実施している	3. 選択必修科目として実施している	4. 選択科目として実施している	5. 補習として実施している	6. 自主学習を促す指導のみ実施している
23	生物に関する入学後教育を実施していますか。	1. 実施していない	2. 必修科目として実施している	3. 選択必修科目として実施している	4. 選択科目として実施している	5. 補習として実施している	6. 自主学習を促す指導のみ実施している
24	入学後教育を実施している理由として、当てはまるものを選択してください。(複数回答可)	1. 高等学校までの基礎学力の補完	2. 大学での専門教育の導入準備	3. その他(自由記述)	4. 入学後教育を実施していない		
	→「4. 入学後教育を実施していない」を選択すると設問25へ						
25	入学後教育を実施していない理由として、当てはまるものを選択してください。(複数回答可)	1. 実施する必要がない	2. 担当する教員が足りない	3. 時間割に余裕がない	4. その他(自由記述)		
	→設問25を回答している人は設問35へ						
26	入学後教育の実施期間をご回答ください。	1. 1か月以内	2. 1～3か月以内	3. 3～6か月以内	4. 6か月以上		
27	入学後教育に用いている教材として、当てはまるものを選択してください。(複数回答可)	1. 紙媒体の教材(印刷物、ドリルなど)	2. デジタル教材(DVD、eラーニングなど)	3. その他(自由記述)			
28	入学後教育の実施主体についてご回答ください。(1学部1学科の場合は、「3. 学科として実施」を選択してください。)	1. 大学全体として実施	2. 学部として実施	3. 学科として実施	4. その他(自由記述)		
29	入学後教育の実施者を選択してください。(複数回答可)	1. 大学教員(常勤)	2. 大学教員(非常勤)	3. 外部委託	4. その他(自由記述)		
30	入学後教育の実施における学科教員(常勤雇用)への負担の程度についてご回答ください。	1. ない	2. あまりない	3. ややある	4. ある		
31	入学後教育の成果の確認方法として当てはまるものを選択してください。(複数回答可)	1. 実施していない	2. 定期試験	3. 確認テスト	4. 課題提出(レポート等)	5. その他(自由記述)	
	→「1. 実施していない」を選択すると設問32へ						
32	入学後教育の成果を確認していない理由をご回答ください。	→ 自由記述(特になければ、「なし」とご入力ください。)					
33	管理栄養士養成課程の専門教育と入学後教育の担当者間の連携(学生の理解度の評価、実施方法の改善についての意見交換など)の頻度についてご回答ください。	1. ほとんど行わない	2. 年1回	3. 年2回	4. 年3回以上		
34	貴学で実施している理科学分野の基礎学力向上に向けた特徴的な取組みがあれば、ご回答ください。	→ 自由記述(特になければ、「なし」とご入力ください。)					
35	今後、理科の入学後教育は必要であると思いますか。	1. 思わない	2. あまり思わない	3. やや思う	4. 思う		

→ 入学前／入学後教育を実施することによる専門基礎科目の理解度・学力向上に関する設問です。

設問番号	小項目	選択肢					
36	「社会・環境と健康」分野の理解度・学力向上のために、入学前／入学後教育を実施してよかったですか。	1. 思わない	2. あまり思わない	3. やや思う	4. 思う	5. わからない	6. 入学前・入学後教育の両方を実施していない
37	「人体の構造と機能及び疾病の成り立ち」分野の理解度・学力向上のために、入学前／入学後教育を実施してよかったですか。	1. 思わない	2. あまり思わない	3. やや思う	4. 思う	5. わからない	6. 入学前・入学後教育の両方を実施していない
38	「食べ物と健康」分野の理解度・学力向上のために、入学前／入学後教育を実施してよかったですか。	1. 思わない	2. あまり思わない	3. やや思う	4. 思う	5. わからない	6. 入学前・入学後教育の両方を実施していない

→ プレースメントテストに関する設問です。  
本調査におけるプレースメントテストとは、基礎学力のレベルを測定し、クラス分けや学習支援の資料とするために実施するテストのことを指しています。

設問番号	小項目	選択肢					
39	プレースメントテストを実施していますか。実施している科目として当てはまるものを選択してください。(複数回答可)	1. 実施していない	2. 化学基礎	3. 生物基礎	4. 化学	5. 生物	6. その他(自由記述)
40	プレースメントテストを実施している理由として当てはまるものを選択してください。(複数回答可)	1. 学力を測るため	2. クラス分けをするため	3. 履修指導に活用するため	4. その他(自由記述)		
41	プレースメントテストを実施していない理由として当てはまるものを選択してください。(複数回答可)	1. 実施する必要がない	2. 担当する教員が足りない	3. 時間割に余裕がない	4. その他(自由記述)		

→ 管理栄養士養成教育における基礎学力向上、教養教育科目等に関する意見をご回答ください。

42	管理栄養士養成教育の基礎学力向上に関する課題についてご意見をお願いします。 → 自由記述(特になければ、「なし」とご入力ください。)
43	管理栄養士養成課程で必要と思われる教養教育科目等についてご回答ください。参考となるキーワードをあげていますが、これらに限定されず自由にご回答ください。 ※地域政策学、心理学概論、コミュニケーション論、数理・データサイエンス・AI科目、国際文化論、など → 自由記述

### (3) 2023年度(2024年3月)卒業生の進路について

説明文: 貴学における管理栄養士養成課程2023年度(2024年3月)卒業生の進路についてご回答をお願いします。

※四捨五入して整数で  
ご入力ください。

設問 番号	項目		(例) 卒業生100人
44	卒業生のうち、管理栄養士の専門性を活かした就職者の割合をご回答ください。	%	80% (80人/100人)
45	管理栄養士の専門性を活かした就職先の内訳(%)をご回答ください。		
	以下の合計が100%となるようお願いします。		
	公務員(行政・栄養教諭など)、教育・研究機関	%	6% (5人/80人)
	医療・福祉	%	31% (25人/80人)
	委託給食会社	%	50% (40人/80人)
	企業(管理栄養士の専門性を活かした業務内容と思われる企業: 食品・製菓関連、薬局・ドラッグストアなど)	%	13% (10人/80人)
	その他	%	0% (0人/80人)
46	卒業生のうち、進学者(大学院・専門学校など)の割合をご回答ください。 ※進学先の分野は、管理栄養士の専門分野に限定いたしません。	%	5% (5人/100人)

### (4) インタビュー調査へのご協力についてご回答ください。

47	基礎学力向上と養成教育の効果的連動について、主に、入学前教育・入学後教育等を先進的に実施している施設を対象として、インタビュー調査(WEBまたは対面)を予定しています。インタビューを、学科長または学科長が指名した先生にお願いしたいと考えております。インタビュー調査のご協力の可否についてご回答ください。 なお、本調査でインタビュー調査にご協力いただける施設から複数施設を抽出し、後日、あらためて依頼文と研究協力の同意を取らせていただきます。インタビューの時期は、令和6年12月～令和7年3月を予定していますが、ご担当者のご相談の上、決めさせていただきます。		
	1. 協力できる 2. 協力できない		